



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「[デュー・プロセス・ハンドブック](#)」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。ISSB は、[2024年3月13日](#)にフランクフルトにて会議を行った。

関連情報：

- ・ 原文は[こちら](#)
- ・ ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

目次

戦略及びガバナンス

- ・ [アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）](#)

戦略及びガバナンス

アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）

ISSB は、2024年3月13日に会議を行い、ISSB の次の作業計画における2年間の活動の戦略的方向性及びバランスを決定した。

ISSB は、次のことを暫定的に決定した。

- 新たなリサーチ及び基準設定のプロジェクトを開始する。
- IFRS S1 号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項」及び IFRS S2 号「気候関連開示」の導入（implementation）を支援する。
- SASB スタンダードを向上させる。
- IFRS サステナビリティ開示基準と IFRS 会計基準の要求事項の間のコネクティビティを追求する。
- IFRS サステナビリティ開示基準が他のサステナビリティ基準と相互運用可能であることを確保することに努める。
- 利害関係者との対話を行う。

14名のISSBメンバー全員が、これらの決定に同意した。

また、ISSB は、次のことを暫定的に決定した。

- IFRS S1 号及び IFRS S2 号の導入（implementation）を支援することに高レベルで重点を置く。
- SASB スタンダードの向上並びに新たなリサーチ及び基準設定プロジェクトの開始にやや低いレベルで重点を置き、これらの活動に同等の注意を払う。
- ISSB に柔軟性を持たせるため、リソースを確保する。
- コネクティビティ、相互運用可能性及び利害関係者との対話については、これらの活動がISSBの作業のすべてに不可欠であることを承知し、重点を置くレベルを特定しない。

14名のISSBメンバー全員が、これらの決定に同意した。

次のステップ

ISSB は、どの新たなリサーチ及び基準設定のプロジェクトを作業計画に加えるかを決定する予定である。